

早いもので、本年も残すところわずかとなりました。この1年、経験したことのないような困難も、皆様の協力のもと乗り越えてこられたことに深く感謝いたします。



<WHOの「がん疼痛治療5原則」が「4原則」へ変更となりました>

緩和薬物療法認定薬剤師 蒔 由衣

近年のがん治療は目覚ましい進歩を遂げていますが、その傍らでがん診療が長期化し疼痛に苦しむ患者様が増えています。

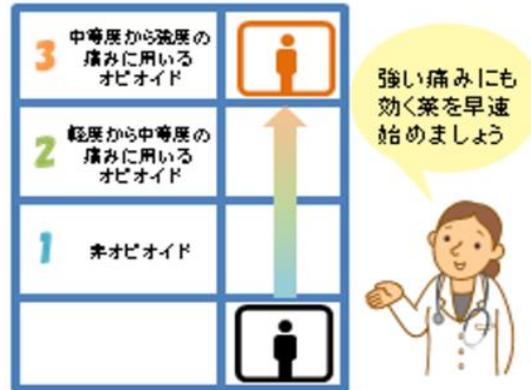
「WHO方式がん疼痛治療法」とは、1906年に世界保健機構から公表された、治療法で、世界各国において、がん疼痛治療の基本となってきた考え方です。かつてWHO方式がん疼痛治療法におけるガイドラインでは、非オピオイドから弱オピオイド、強オピオイドへと段階的に除痛ラダーに沿って効力の順に薬剤を選択すべきとする「3段階除痛ラダー」の考え方を含めた「がん疼痛治療5原則」が提唱されていました。しかし、2018年にガイドラインが改定され、この3段階除痛ラダーが削除となり、「4原則」へ変更となりました。

- <変更前>
- 1.経口的に (by mouth)
 - 2.時刻を決めて規則正しく (by the clock)
 - 3.除痛ラダーに沿って効力の順に (by the ladder)
 - 4.患者ごとの個別な量で (for the individual)
 - 5.そのうえで細かい配慮を (with attention to detail)

- <変更後>
- 1.経口的に (by mouth)
 - 2.時刻を決めて規則正しく (by the clock)
 - 3.患者ごとの個別な量で (for the individual)
 - 4.そのうえで細かい配慮を (with attention to detail)

これは、患者ごとに詳細な評価を行い、それに基づいて鎮痛薬を選択することが重要視されたことが背景にあります。とはいえ、世界的に参照されているWHO方式3段階除痛ラダーが疼痛コントロールの基本的な考え方である事には変わりなく、改定されたガイドラインでも巻末に掲載されています。ただし、厳密ながん疼痛治療のプロトコールとして参照されるものではなく、より個別性に配慮した治療が求められる形となっています。鎮痛薬の選択は、基本的には除痛ラダーに従いますが、毎回必ず1段目の薬剤から使用するのではなく、痛みの強さに応じた薬剤を選びます。特に、強い痛みが放置されていた場合や、強い痛みが急激に出現した場合には、初めから第3段階の強オピオイドを必要とするケースも多くあります。

WHO 3段階除痛ラダー



がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン
(2014年版)より引用

適切なフロアを即時に選択する「エレベーター方式」
PEACE 緩和ケア研修会プレゼンテーション資料より引用

また従来は、3段階除痛ラダーの1段階目であるアセトアミノフェンやNSAIDsを使用しても十分に除痛できない場合は、2～3段階目のオピオイドを追加し、複数の鎮痛薬を併用することが推奨されてきました。しかし、それでは服用する薬剤が増えてしまい、患者様の内服の負担が大きくなってしまふことから、最近ではオピオイド単独で除痛できる場合は、あえて他の鎮痛薬の併用はしないというケースもみられるようになってきました。

さらに近年、弱オピオイドと低用量の強オピオイドで安全性に差がないことが示されています。強オピオイドの低用量製剤が使用可能となったこともあり、中等度以上の痛みがある患者様には、緩和ケア導入時に最初から低用量の強オピオイドを処方することも増えてきています。

ただし、弱オピオイドが必要なくなったわけではありません。例えば、弱オピオイドに分類されているトラマドールは、オピオイド受容体の作動薬であると同時に下降系抑制系神経を活性化する作用があり、特に神経障害性疼痛に効果的とも言われています。

患者様の痛みを詳細に評価した上で、鎮痛薬の強弱も含めてどのオピオイドが最もその患者様に適しているかという目線で薬剤を選択することが重要となります。

現在では、医療用麻薬の種類は増え、様々な剤型の薬剤が使用できるようになりました。個々の患者様の希望やライフスタイルに合わせた適切な薬剤選択のためには、患者様の声にしっかりと耳を傾け、他職種で情報を共有し、地域の医療機関同士で適切に連携していくことが大切だと思います。



「やんばるメディカルゆいまーる！」 FM やんばる 77.6MHz

毎週火曜日 11:30～ 木曜日 13:30～

12月 超音波検査について 下地淳一郎 副検査技師長

1月 がん疼痛治療4原則について 筋由依 緩和薬物認定薬剤師

2月 臨床工学士について 臨床工学士

*視聴希望や感想などをFM やんばるへ直接メールする場合は mail@fmyanbaru.co.jp へ

超音波検査について

検査科・臨床検査技師 下地 淳一郎

住民健診や人間ドック、また診察の際に、超音波検査を受けたことがある方もいるのではないのでしょうか。エコー検査ともよばれており、検査による体への影響がほとんどないことから日常診療に広く用いられています。

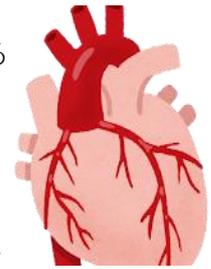
超音波検査は、超音波を発生する機器を使って、体の臓器を画像表示し視覚的に評価する検査方法です。超音波が通りにくい骨や空気のたまっている部分をのぞく、心臓、腹部の臓器、甲状腺、乳房などの検査に向いています。

また血液の流れる方向をとらえることができるため、心臓や血管の血液の流れが正常かどうかも検査できます。

それでは医師や私たち臨床検査技師は、超音波検査でどんなところを見ているのか、比較的検査数の多い、心臓超音波検査および腹部超音波検査についてお話しいたします。

まず**心臓超音波検査**についてお話しいたします。検査をする場合は、左向きで寝てもらい、左胸の肋骨の間に機器を押しあてるように行います。検査時間は約 30 分程度です。

心臓は 4 つの部屋が膨らんだり収縮したりすることで、体内の血液を循環させるポンプの役割を果たしています。また弁が正常に開閉することで血液の正常なながれを保っています。心臓超音波検査では、**心臓のポンプ機能**が弱っていないか、**弁の開閉**がわるくなっていないかなど、心臓に異常がないかを観察します。



例えば重度の弁膜症や重度の心筋梗塞の時など、弁の開閉や心臓の動きが極端に悪くなると、心臓の中に血液のうっ滞が生じたり、血の塊・血栓ができたりすることがまれにあります。血栓は血液のながれによって頭部までいくと、脳梗塞の原因になったりするので、心臓超音波検査で血栓がないかをチェックをすることで、脳梗塞の早期発見や予防につなげることが出来ます。

また弁膜症の人工弁の手術後など、人工弁の状態をみたりすることで、経過が良好かどうか判断したりします。

まれな病気ですが、生まれつき心臓内を隔てている壁に穴があいていたり、通常と違う部屋の形や血管の場所に異常が生じる、心奇形という病気があります。画像を通して、視覚的に心臓の異常な構造や状態を把握できるので、心奇形の診断上もとても有用な検査となります。

その他、心臓の筋肉、心筋といいますが、心筋自体が弛緩あるいは収縮しやすいかなども観察しています。動いている現在の心臓を観察できるので、心臓機能を全体的に評価できる唯一の検査法とも言えます。



つぎに、**腹部超音波検査**についてお話しいたします。人間ドックなどでも行われており、広く知られている超音波検査のひとつです。

腹部超音波検査では、おなか全体を下腹部側まで観察します。検査時間は約 15 分程度ですが、すこし長くかかったりすることもあります。呼吸や体の向きをかえたりして、肝臓、胆のう、腎臓、膵臓、脾臓、大腸や小腸など、おなかの各臓器に異常がないかを

注意深く観察します。各臓器を広く観察することで、肝臓や腎臓などの炎症の有無や、その症状の進み具合も特徴的な画像としてわかることがあります。

みなさんは結石という言葉聞いたことがあるでしょうか。臓器の中にできる石のような固い塊で、比較的好く耳にするとと思われるのは、尿管結石、胆石でしょうか。

そのほか、膵臓にできる膵石や、膀胱にできる膀胱結石などがあります。超音波検査では、それら結石も特徴的な画像としてとらえることができます。

また各臓器の腫瘍を探す検査としても広く行われています。腫瘍が疑われる場合は、その画像上の特徴や数、大きさ、他の臓器への広がりなどを注意深く観察します。

腹部超音波検査は、おなかのガスなどの影響で検査時間が長くかかったりすることがあり、検査を受ける方により検査時間は多少異なります。検査前の排尿をさけるように言われている方もいると思いますので、検査中にお手洗いが近いなど、何かあれば検査担当の方にお伝えください。



最後に、実際に腹部超音波検査を受けるにあたっての注意事項について少しお話しいたします。

まず食事についてですが、検査当日の朝食はとることができません。胃の中に食べ物が残っていたりすると、観察できなくなる部分があったりする為です。

糖尿病の方は注意が必要です。空腹で低血糖になりやすいため、血糖を下げのお薬の検査前の使用は避けて頂く必要があります。

また、心臓病や高血圧、その他欠かせないお薬の服用や、脱水防止のための多少のお水は摂っても大丈夫です。

先ほど、検査中のお手洗いのお話しがありましたが、多くの場合下腹部側の観察も行います。検査前の排尿を我慢していただく場合がありますので、排尿してよいかご不明な場合は、トイレに行く前に、あらかじめご確認していただく方がよいと思います。注意事項は以上となります。



今回は超音波検査について説明させて頂きました。ありがとうございました。

北部病院 公開講座

「スキンケア(皮膚裂傷)を防ぐ」

皮膚排泄ケア認定看護師 新里 直

令和4年1月20日(木) 17:15~18:15

場所: 2階会議室



講義と実技を
予定しています!

問い合わせ: 北部病院 地域連携室 翁長(52-2717)